2006 年度理事会議事録

日 時: 2006 年 9 月 8 日 (金)

午後 5 時 00 分～午後 7 時 00 分

場 所: 東京ガーデンパレス須磨の間

出席者: 岡村一成理事長, 荻野七重副理事長, 浮谷秀一, 垣本由紀子, 柏木恵子 (第 73 回大会委員長), 田之内厚三, 所 正文, 外島裕, 内藤哲雄, 藤田主一, 松浦常夫, 松田浩平, 南 隆男, 向井希宏, 蓮花一己 (以上常任理事)

井上孝代, 尾入正哲, 小野浩一, 嘉部和夫, 川本利恵子, 桐生正幸, 谷口泰富, 細江達郎, 森下高治, 森脇保彦 (以上理事)

藤森立男, 玉井 寛 (監事)

委任状: 大淵憲一, 大坊郁夫, 鎌形みや子, 高石光一, 田中真介, 豊村和真, 馬場房子, 三戸秀樹 (以上理事)

陪 席: 内海 滉, 大久保康彦, 神作 博, 中村昭之, 山岡 淳 (以上名誉会員)

事務局: 浮谷秀一 (事務局長), 伊波和恵 (幹事)

I. 理事長挨拶

- 第 73 回大会開催にあたって, 柏木恵子大会委員長へ御礼を述べた。
- 役員選挙が実施され, 新体制で 4 月から運営されていることの説明があった。

II. 第 73 回大会委員長挨拶 (柏木恵子大会委員長)

- 第 73 回大会開催にあたり, 委員長としてご挨拶をした。

III. 報告事項

1. 選挙結果報告 (浮谷選挙管理委員長)

- 役員選挙結果について別紙を用いて説明した。

2. 新役員・事務局体制

- 選挙結果を踏まえて, 別紙を用いて新しい役員・事務局体制を説明した。

3. 事業報告

(1) 会員の異動および会費納入状況

(浮谷事務局長)

- 9 月 6 日現在の会員数は, 合計 1,107 名で, 内訳は, 正会員 1,060 名, 学生会員 2 名, 名誉会員 41 名, 賛助会員 4 名との報告があった。

- 会費納入状況は, 2005 年度分は 84% (3 月末現在) 2006 年度は 71% (9 月 6 日現在) 納入済との報告があった。

(2) 委員会報告

1) 機関誌編集委員会 (藤田委員長)

- 資料にもとづき委員会の構成委員を紹介した。
- 資料にもとづき現在の編集状況を説明した。

2) 認定「応用心理士」認定審査委員会

(浮谷委員長)

- 2006 年度前期は 2 名を認定したことが報告された。

3) 学会賞・奨励賞選考委員会 (荻野委員長)

- 今年度は両賞とも該当者なしという報告があった。推薦はあったが選考委員会での第 1 次選考で「該当者なし」とした。常任理事会での第 2 次選考においても「該当者なし」であることが承認された。

4) 国際交流委員会 (蓮花委員長)

- アテネ大会における日本応用心理学会としての企画シンポジウムについて, 次の案が示された。

【テーマ: 現代日本が直面する社会問題とその解決】

司会: 内藤哲雄・蓮花一己

話題提供者

① いじめ (日本的集団主義) …… 倉光 修 (非会員)

② 交通事故関係 (人災) …… 垣本由紀子

③ 災害 (天災) …… 藤森立男

④ 非行・犯罪の防止策

…………… (社会不安) 西田公昭 (非会員)

指定討論者: 長塚康弘

5) 企画委員会 (内藤委員長)

- 次回のシンポジウムを企画中であり, 詳細については, 決まり次第報告する。

- 6) 広報委員会（所委員長）
 - ・ニューズレターの発行の準備をしている。
 - 7) 倫理委員会（荻野委員長）
 - ・特になし
 - 8) 諸規程整備検討委員会（浮谷委員長）
 - ・役員選挙規程の見直しをした。審議事項として提案する。
 - 9) 若手研究者支援委員会（田之内委員長）
 - ・明日からの第73回大会より支援を実施するとの報告があった。
 4. 2005年度第72回大会報告
(玉井大会事務局長)
 - ・大会決算報告書にもとづいて報告があった。
 5. 日本心理学諸学会連合（垣本担当常任理事）
 - ・心理学検定事業などについて説明があった。
 6. その他
 - ・理事長より創立60周年記念事業として「応用心理学事典」を学会として編集・発行することが報告された。発行元は丸善株式会社である。
 5. 名簿作成に関する件（岡村理事長）
 - ・名簿を発行するにあたり、掲載項目について提案され承認された。
 6. 学会賞に関する件（荻野副理事長）
 - ・ここ数年「該当なし」が続いていることから、受賞対象などを見直す提案があった。主な改正点は、学会賞と奨励賞を一本化し、学会賞のみとする点で承認された。選考内規などは副理事長が中心になって決定していくことが了承された。
 7. 2008年度第75回大会当番機関に関する件
(岡村理事長)
 - ・横浜国立大学（藤森立男大会委員長）において開催されることが提案され、承認された。
- * 常任理事会は2007年9月10日（日）12時から文京学院大学本郷キャンパス B506 会議室において開催される。

IV. 審議事項

1. 会則の改正に関する件（岡村理事長）
 - ・終身会員を新設するための会則の改正案が提案され、一部修正の上承認された。主な改正点は次のとおりである。
 - ①会則の第4条4項に終身会員に関する条項が挿入された。
 - ②申請の条件は、満71歳以上で正会員在籍年数30年以上の正会員および認定「応用心理士」取得後10年を経過した者とした。
 - ③終身会員は年会費納入の義務を有さない。
 2. 2005年度決算に関する件（浮谷事務局長）
 - ・各委員会の決算報告にもとづき、監事の会計監査報告を経た2005年度決算書が提案され、承認された。
 3. 2006年度予算に関する件（浮谷事務局長）
 - ・各委員会の決算報告ならびに要望にもとづいた2006年度予算案が提案され、承認された。
 4. 役員選出・選挙規程に関する件（浮谷委員長）
 - ・役員選挙を実施した結果を踏まえて、より会員の意思が反映されるように一部改正した。
- 2006年度総会議事録**
- 日 時： 2006年9月9日（土）
午前11時30分～12時30分
- 場 所： 文京学院大学 S-51 教室
1. 理事長挨拶
 - ・第73回大会開催にあたって、柏木恵子大会委員長へ御礼を述べた。
 - ・役員選挙が実施され、新体制で4月から運営されていることの説明があった。
 2. 第73回大会委員長挨拶（柏木恵子大会委員長）
 - ・第73回大会開催にあたり、委員長としてご挨拶をした。
 3. 議長選出
 - ・柏木大会委員長を議長に選出した。
 4. 報告事項
 - (1) 選挙結果報告（浮谷選挙管理委員長）
 - ・役員選挙結果について別紙を用いて説明した。
 - (2) 新役員・事務局体制
 - ・選挙結果を踏まえて、別紙を用いて新しい役員・事務局体制を説明した。

(3) 事業報告

1) 会員の異動および会費納入状況

(浮谷事務局長)

- ・9月6日現在の会員数は、合計1,107名で、内訳は、正会員1,060名、学生会員2名、名誉会員41名、賛助会員4名との報告があった。
- ・会費納入状況は、2005年度分は84%（3月末現在）2006年度は71%（9月6日現在）納入済との報告があった。

2) 委員会報告

①機関誌編集委員会（藤田委員長）

- ・資料にもとづき、委員会の構成委員を紹介した。
- ・使用にもとづき、編集状況を説明した。

②認定「応用心理士」認定審査委員会

(浮谷委員長)

- ・2006年度前期は2名を認定したことが報告された。

③学会賞・奨励賞選考委員会（荻野委員長）

- ・今年度は両賞とも該当者なしという報告があった。推薦はあったが選考委員会での第1次選考で「該当者なし」とした。常任理事会での第2次選考においても「該当なし」であることが承認された。

④国際交流委員会（蓮花委員長）

- ・アテネ大会における日本応用心理学会としての企画シンポジウムについて、次の案が示された。

【テーマ：現代日本が直面する社会問題とその解決】

司会：内藤哲雄・蓮花一己

話題提供者

①いじめ（日本の集団主義）…倉光 修
(非会員)

②交通事故関係（人災）……垣本由紀子

③災害（天災）……………藤森立男

④非行・犯罪の防止策
……………（社会不安）西田公昭
(非会員)

指定討論者：長塚康弘

⑤企画委員会（内藤委員長）

- ・次回のシンポジウムを企画中であり、詳

細については、決まり次第報告する。

⑥広報委員会（所委員長）

- ・ニューズレターの発行の準備をしている。

⑦倫理委員会（荻野委員長）

- ・特になし

⑧諸規程整備検討委員会（浮谷委員長）

- ・役員選挙規程の見直しをした。審議事項として提案する。

⑨若手研究者支援委員会（田之内委員長）

- ・明日からの第73回大会より支援を実施するとの報告があった。

(4) 2005年度第72回大会報告

(玉井大会事務局長)

- ・大会決算報告書にもとづいて報告があった。

(5) 日本心理学諸学会連合（垣本常任理事）

- ・心理学検定事業などについて説明があった。

(6) その他

- ・理事長より創立60周年記念事業として「応用心理学事典」を学会として編集・発行することが報告された。発行元は丸善株式会社である。

5. 審議事項

(1) 会則の改正に関する件（岡村理事長）

- ・終身会員を新設するための会則の改正案が提案され、一部修正の上承認された。主な改正点は次のとおりである。

①会則の第4条4項に終身会員に関する条項が挿入された。

②申請の条件は、満71歳以上で正会員在籍年数30年以上の正会員および認定「応用心理士」取得後10年を経過した者とした。

③終身会員は年会費納入の義務を有さない。

(2) 2005年度決算に関する件（浮谷事務局長）

- ・各委員会の決算報告にもとづき、監事の会計監査報告をへた2005年度決算書が提案され、承認された。

(3) 2006年度予算に関する件（浮谷事務局長）

- ・各委員会の決算報告ならびに要望にもとづいた2006年度予算案が提案され、承認された。

(4) 役員選出・選挙規程に関する件

(浮谷委員長)

- ・役員選挙を実施した結果を踏まえて、より会員の意思が反映されるように一部改正した。主な改正点は常任理事選挙での投票人数を3名から15名とした点である。ほかに内容に影響を与えない文言を数箇所訂正した。
- (5) 名簿作成に関する件 (岡村理事長)
 - ・名簿を発行するにあたり、掲載項目について提案され承認された。
- (6) 学会賞に関する件 (荻野副理事長)
 - ・ここ数年「該当なし」が続いていることから、受賞対象などを見直す提案があった。主な改正点は、学会賞と奨励賞を一本化し、学会賞のみとする点で承認された。選考内規などは副理事長が中心になって決定していくことが了承された。
- 6. 2008年度第75回大会当番機関に関する件 (岡村理事長)
 - ・横浜国立大学 (藤森立男大会委員長) において開催されることが提案され、承認された。
- 7. 議長解任

2006年度第4回常任理事会議事録

1. 開催要項

日 時: 2006年9月10日(日) 12時~13時

場 所: 文京学院大学 本郷キャンパス B506

出席者: 岡村一成理事長, 荻野七重副理事長

浮谷秀一, 大橋信夫, 垣本由紀子, 田之内厚三, 所 正文, 内藤哲雄, 藤田主一, 松浦常夫, 松田浩平, 向井希宏, 蓮花一己, 柏木恵子 (第73回大会委員長) (以上14名)

委任状: 外島 裕, 南 隆男

事務局: 浮谷秀一 (局長), 伊波和恵 (幹事)

2. 報告事項

(1) 理事長挨拶

(2) 各委員会報告

1) 機関誌編集委員会 (藤田委員長)

- ・機関誌編集協力委員 (以下, 協力委員とする) の設置ならびにそれに伴う委員会規程変更案について, 委員会より提案された。
- ・協力委員の定義, 活動内容, 人数, 任期等について全般的な議論が交わされたが, 設置の可否も含めて, この場では結論が出

ず, 継続審議することとなった。

2) 企画委員会 (内藤委員長)

- ・学会第73回大会において, A 越河先生, B 内藤先生による研修会を開催する。
- ・東京以外でのシンポジウムの開催も検討したいが, 集客やスタッフ移動に伴うコスト面での課題が残る。

3) 広報委員会 (所委員長)

- ・学会HPの役割を見直し, 松田先生にHP担当を依頼, 今後変更を行う予定である。
- ・ニュースレター第16号(11月ごろ発行予定)に, アテネの国際大会ならびに第73回大会の報告を掲載予定である。各委員長に活動方針の執筆を求めるなど, 執筆分担の確認がなされた。
- ・その他, 次年度から開始される終身会員制度等の会則改正, 英文論文の案内などの記事を掲載予定である。

4) 認定「応用心理士」認定審査委員会

(浮谷委員長)

- ・前期は2名を承認した。
- ・新役員掲載の「申請の手引」を作成し, 全会員に配布する。

5) 国際交流委員会 (蓮花委員長)

- ・ニュースレターへの国際大会参加ならびに企画報告を掲載予定である。
- ・アテネ大会への参加者に, 広報委員会, 機関誌編集委員会と連携して, 英文論文執筆を依頼していく。

6) 若手研究者支援委員会 (田之内委員長)

- ・若手研究者への学会大会参加支援制度を本大会から適用。詳細については集計後に報告する。

7) 学会賞・奨励賞選考委員会 (荻野委員長)

- ・学会賞に関する変更事項の承認手続きについて確認がなされた。会則の変更を含まなければ, 常任理事会→理事会→ニュースレターでの意思確認を経て(来年度の総会を待たずに), 変更することが可能である。

(3) 日本心理学諸学会連合報告

(垣本常任理事)

- ・心理学検定の実施計画について報告があった。

(4) 2007年度第74回大会について

(蓮花大会委員長)

- ・2007年9月8日(土)~9日(日)に帝塚山大学学園前キャンパスにおいて開催予定である。
- ・理事会は大会前日の7日(金)夕刻に開催予定である。

(5) 2008年度第75回大会について(岡村理事長)

- ・横浜国立大学において開催することとなった。大会委員長は藤森立男監事である。

3. 審議事項

(1) 編集委員会規程に関する件(藤田委員長)

- ・機関誌編集協力委員の設置について、編集委員会より提案があった。提案趣旨の説明があったのち議論が交わされ、継続的に審議していくことになった。

(2) 執筆規程に関する件(藤田委員長)

- ・(1)とあわせて、継続審議となった。

(3) 新入会員審査および会員異動について

- ・新入会員申し込みのあった下記の3名について審査し承認した。
中村隆一、菅野 亮、川合 悟
- ・9月6日現在、会員数1,107名(内訳:正会員数1,060名、学生会員2名、名誉会員41名、賛助会員4名)。

* 名誉会員の高嶋正士先生より本学会に50万円のご寄付をいただいた。ご寄付の取り扱い活用方法については今後検討することになった。

* 次回常任理事会は2006年12月1日(金)午後6時より東京富士大学において開催される予定である。

2006年度第5回常任理事会議事録

1. 開催要項

日 時: 2006年12月1日(金)

午後6時~午後8時45分

場 所: 東京富士大学本館1階第2会議室

出席者: 岡村一成理事長, 荻野七重副理事長

浮谷秀一, 大橋信夫, 垣本由紀子, 田之内厚三, 内藤哲雄, 藤田主一, 松浦常夫, 松田浩平, 向井希宏, 蓮花一己(第74回大会委員長を兼ねる)(以上12名)

委任状: 所 正文, 南 隆男

事務局: 浮谷秀一(局長), 伊波和恵(幹事)

2. 報告事項

(1) 理事長挨拶

- ・第73回大会終了の報告と御礼を述べた。

(2) 各委員会報告

1) 機関誌編集委員会(藤田委員長)

- ・第32巻第1号の編集状況について説明があった: 原著論文3, 公開シンポジウム1, 追悼文(田中昌人先生)1, 事務局だより, 認定「応用心理士」事務局より
- ・第26回(2006年7月)国際応用心理学会議参加者宛に, 英文投稿論文募集を知らせるチラシを作成した。ニュースレターに同封して周知する予定である。
- ・審査状況について, 5件終了との報告があった。第32巻第2号は3月末に発行予定である。

2) 企画委員会(内藤委員長)

- ・第73回大会において, A 越河先生, B 内藤先生による研修会を開催した。
- ・研修会については, 運営面での課題が指摘された。研修会用の受付へのスタッフ配置については, 次回(第74回大会)以降, 大会主催校に担当してもらうことが決まった。

3) 広報委員会(代理: 浮谷事務局長)

- ・ニュースレター第16号がまもなく発行される。印刷終了し, あとは発送を待つ状況である。

4) 認定「応用心理士」認定審査委員会

(浮谷委員長)

- ・新役員掲載の「申請の手引き」を作成, 発送済みである。
- ・後期に入り, 6件の問い合わせがあり, 審査料の入金は現在7件という状況である。今期の締切は12月15日。

5) 国際交流委員会(蓮花委員長)

- ・ニュースレターに国際大会参加ならびに企画報告を掲載した。
- ・アテネ大会への参加者に, 広報委員会, 機関誌編集委員会と連携して, 英文論文執筆を依頼する。会員宛発送物への封入チラシ等で呼びかける予定である。

- 6) 若手研究者支援委員会 (田之内委員長)
- ・若手研究者への学会大会参加支援制度を本大会から適用したところ、利用件数は次のとおりであった: 発表者 21 件 (発表数全体の 24%), 当日会員 9 件, 自主シンポジウム 0 件。
 - ・課題として、次の 3 点が挙げられた: ①受付の設定の見直し (時間・担当者・場所等), ②周知の不徹底さを改善すること (今回は会場内でも該当者に委員から声をかけた), ③若手の懇親会参加者の増加 (今回は院生は 6 名のみ)。
- 7) 学会賞・奨励賞選考委員会 (荻野委員長)
- ・「学会賞規程」について検討した。
- (3) 日本心理学諸学会連合報告 (垣本常任理事)
- ・次回の会合は 12 月 24 日開催予定。
- (4) 第 73 回大会について報告 (松田大会副委員長)
- ・大会運営について、業務担当の国際文献とのトラブルの経緯と決着について説明があった: ①印刷トラブルに関しては、業者より大会事務局へ、延滞金 6%/日×2 週間分を払い戻しするという事で合意した。②トラブル再発を防ぐためにも、大会運営に関するマニュアルの整備と共有をさらに徹底することとなった。
 - ・収支決算はとりまとめ次第、報告する。
- (5) 2007 年度第 74 回大会について (蓮花大会委員長)
- ・2007 年 9 月 8, 9 日に帝塚山大学学園前キャンパスにおいて開催予定である。
 - ・理事会は大会前日の 7 日夕方、懇親会は 8 日夜に、それぞれ奈良ホテルにて開催予定。
 - ・大会プログラムの概要を企画中である: ポスターならびに口頭発表, 自主ワークショップ 6~8 件分, 大会企画 1 件, 講演 2 件, 研修会 2 件。
- (6) その他 (岡村理事長)
- ・名誉会員の花沢成一先生, 田中富士夫先生が逝去された。花沢先生には、学会名で生花と電報でお悔やみを表したが、田中先生の訃報が入ったのは葬儀後だったため、対応できなかった。
3. 審議事項
- (1) 編集委員会規程 (案) に関する件 (藤田委員長)
- ・機関誌編集委員会規程 (案) が、委員会より提出され、承認された。
 - ・『応用心理学研究』の投稿・執筆規程 (案) が委員会より提出され、承認された。(ただし、付記: 審査の手順については掲載対象としない。)
 - ・機関誌編集規程の見直しについて、①掲載論文の種類に、短報論文 (ショートレポート)、実践論文を加える、②別刷 20 部を著者に贈呈する、③審査結果への異議申し立てについて記述する、④著作権の帰属先について記述する、などの新規規程案が提出された。このうち、①、②は承認された。③、④については、執筆規程において検討することとなった。
 - ・ショートレポートの新設ならびに執筆規程について委員会より提案があり、承認された。
- (2) 学会賞の規程改正に関する件 (荻野委員長)
- ・「学会賞」規程ならびに選考細則案が委員会より提出され、修正のうえ、承認された。
 - ・本改正について、理事会においては持ち回り審議で承認を求めることとなった。
- (3) 新入会員審査および会員異動について
- ・新入会の申し込みのあった 15 名について審査し、全員承認した。
三木善彦, 枚田 香, 宮崎貴子, 村山 綾, 藤吉信子, 谷津修一, 佐々木史之, 安藤 詳子, 渡部英夫, 井上億久和, 三島重顕, 田畑智章, 藤原靖久, 仲本尚史, 村瀬千春
 - ・11/29 現在, 会員数 1,113 名 (内訳: 正会員数 1,067 名, 学生会員 2 名, 名誉会員 40 名, 賛助会員 4 名)。入会者 10 名, 退会者 5 名 (うち, 逝去 2 名)。
- (4) 公開シンポジウムに関する件
- * 次回常任理事会は 2007 年 2 月 23 日 (金) 午後 2 時より東京富士大学において開催される予定である。

2006 年度第 6 回常任理事会議事録

日 時: 2007 年 2 月 23 日 (金)

午後 2 時～午後 4 時

場 所: 東京富士大学本館地下 1 階第 1 会議室

出席者: 岡村一成理事長 荻野七重副理事長

浮谷秀一, 大橋信夫, 所 正文, 内藤哲雄,
藤田周一, 松浦常夫, 松田浩平, 向井希宏
(以上 10 名)

委任状: 田之内厚三, 南 隆男, 蓮花一己

事務局: 浮谷秀一 (局長), 伊波和恵 (幹事)

1. 報告事項

(1) 理事長挨拶

- ・『応用心理学事典』上梓の報告と出版祝賀会の開催案内について。
- ・田中杉恵会員の訃報について。

(2) 各委員会報告

1) 機関誌編集委員会 (藤田委員長)

- ・第 32 巻第 2 号の審査ならびに編集状況について説明があった: 投稿数 6 本のうち, 審査済 1, 審査中 4, 不採択 1。追悼文 2 (花沢成一先生について; 井上億久和先生, 田中富士夫先生について; 田形修一先生)。事務局だより, 認定「応用心理士」事務局より, 機関誌「応用心理学研究」の新投稿・執筆規程, 機関誌「応用心理学研究」の新編集規程。
- ・第 26 回国際応用心理学会議出席者を対象とした英文論文の投稿数は 16 件となった。これに日本応用心理学会企画シンポジウムの報告を加えて, 特集号として編集する。

2) 企画委員会 (内藤委員長)

- ・2006 年度シンポジウムを次のように開催することとなった。
テーマ:『過重負担の医療・福祉従事者をどう支援するか?』
2007 年 4 月 14 日 (土) 13:30～17:00
明治学院大学本館 1201 教室
企画: 内藤哲雄 (信州大学)
司会: 大橋信夫 (日本福祉大学)・内藤哲雄
話題提供者
峯尾武巳 (神奈川県立保健福祉大学)

吉方りえ (医療法人社団順聖会吉方病院
医師)山川庸介 (児童養護施設まつば園保育
士)安藤真智子 (東京都渋谷区子ども家庭支
援センター専門相談員)

指定討論者

井上孝代 (明治学院大学)

松下由美子 (山梨県立大学看護学部)

- ・第 74 回大会 (於: 帝塚山大学) での研修講演は, 以下のとおり企画を進めている:

- ①9 月 8 日「社会における応用心理士の使命と課題・留意点」(講師: 神作博 (中京大学), 司会: 向井希宏 (中京大学),
- ②9 月 9 日「未定」(講師: 井上孝代 (明治学院大学), 司会: 伊藤武彦 (和光大学))。

3) 広報委員会 (所委員長)

- ・ニューズレター第 17 号は 3 月中旬に原稿〆切で 4 月末発行, 5 月初旬に発送予定である。
- ・学会 Web 担当の松田委員より, 学会ホームページ運用に関連して, 諸学会のホームページを活用した会員向けサービス等の現状について報告があった。今後, 委員会を中心に, 内容の詳細を検討していく予定である。

4) 認定「応用心理士」認定審査委員会

(浮谷委員長)

- ・19 人の申請があり, 審査の結果 17 人が合格とした。3 月中に通知予定である。

5) 国際交流委員会 (松浦委員)

- ・3 月中に会合を行う予定。

6) 若手研究者支援委員会

(代理: 浮谷事務局長)

- ・次回学会大会へ向けて, 若手支援策と手続き方法に関するチラシを作成した。これを会員宛に周知する予定である。

7) 学会賞・奨励賞選考委員会 (荻野委員長)

- ・次回より, 学会賞選考委員会へと名称を変更する。

(3) 日本心理学諸学会連合報告 (岡村理事長)

- ・12 月の会議において, 心理学検定の実施が

決定した。

(4) 2007 年度第 74 回大会について

(代理：向井常任理事)

- 2007 年 9 月 8 日・9 日に帝塚山大学学園前キャンパスにおいて開催する。
- 準備状況は順調である。なお、運営上のおもな変更点としては次のとおりである：①会員への事前広報を 1 号通信に一本化，②懇親会への同伴者の出席を認める，③終身会員の項目を設けた，④個人発表を口頭発表とポスター発表の 2 部門とした，⑤全体的に費用を抑えるようにした。

3. 審議事項

(1) 編集委員会規程および投稿規程に関する件

(藤田委員長)

- 機関誌編集委員会規程が承認された。本規程は平成 18 年 4 月 1 日より一部改定施行する。
- 『応用心理学研究』の投稿・執筆規程が承認された。ただし、引用文献の書式については、事典類からの引用を加えるなど、さらに詳細を検討することとなった。
- 機関誌編集規程(案)については、以下の修正を加えて、承認された。本規程は、平成 19 年 4 月 1 日より施行する：掲載論文の種類に新たに加えられた短報論文(ショートレポート)の名称は短報論文に、実践論文は実践報告と定めることとした。総説論文については、依頼論文という但し書きを削除することとなった。

(2) 学会賞・奨励賞の規程改正に関する件

(荻野委員長)

- 平成 18 年度、19 年度分は、平成 20 年度に選考、発表されることとなった。
- これにともない、委員会は平成 20 年度に設置されることが確認された。

(3) 公開シンポジウムに関する件

- 4 月 14 日に開催されるが、平成 18 年度の事業であるので、平成 18 年度決算に繰り込むことが確認された。

(4) 2007 年度各委員会の事業計画に関する件

(浮谷事務局長)

- 予算は 4 月 14 日の次回理事会の際に決定したいので、3 月末までに事務局宛に各委員会でまとめて提出するように依頼があった。

(5) 新入会員審査および会員異動について

(浮谷事務局長)

- 新入会員申し込みのあった 17 名について審査し、全員承認した。
堀内由樹子、松尾由美、田島 祥、鈴木佳苗、八田武俊、佐渡真紀子、仲田将寛、高比良美詠子、樫淵めぐみ、山入端津由、村田芳実、山本 崇、名張恵那、大前泰彦、中山智恵、齋藤友美、永光 優
- 2 月 21 日現在、会員数 1,124 名(内訳：正会員数 1,078 名、学生会員 2 名、名誉会員 40 名、賛助会員 4 名)。入会者 16 名、退会者 5 名(うち、逝去 2 名)。

(6) その他

- * 次回常任理事会は 2007 年 4 月 14 日(土)午後 5 時より明治学院大学において開催される予定である。

平成 18 年 3 月 10 日

日本応用心理学会第 72 回大会決算報告

収 入		支 出	
摘 要	金 額	摘 要	金 額
大会参加費	1,139,000	学会事務委託関係	1,814,245
(内訳) 正会員 (予約)	5,000×134	(内訳) 印刷費	1,046,400
正会員 (当日)	6,000×37	発送費	381,462
院生 (予約)	2,000×21	広告関連代行	37,900
院生 (当日)	3,000×2	受付・庶務業務費用	63,220
非会員 (予約)	6,000×11	システム関連費	211,920
非会員 (当日)	7,000×17	消費税	73,343
非会員 (学生)	3,500×4		
発表費	799,000	講師謝礼	140,000
(内訳) 正会員	5,000×114	学生協力謝礼	277,500
名誉会員	5,000×6	消耗品費	440,756
院生	3,000×17	理事会費	308,206
非会員	10,000×14	懇親会費	471,906
非会員学生	8,000×1	総会費	115,000
論文集代	246,000	渉外費	56,770
(内訳) 正会員 (予約)	5,000×33	準備委員会運営費	298,498
正会員 (当日)	6,000×11	郵送料・手数料	13,606
院生 (予約)	5,000×3		
懇親会費	289,000		
(内訳) 正会員 (予約)	5,000×39		
正会員 (当日)	6,000×13		
院生 (予約)	2,000×8		
研修会費	38,000		
(内訳) 正会員 (予約)	500×52		
正会員 (当日)	1,000×12		
広告費	220,000		
協賛金・寄付金	10,000		
学会本部補助金	700,000		
理事会本部補助	100,000		
本学補助	395,487		
合 計	3,936,487	合 計	3,936,487

日本応用心理学会第 72 回大会の収支について、以上のとおりご報告いたします。

平成 18 年 1 月 16 日

大会会長 星野 仁彦 印

上記、第 72 回大会収支決算書の会計処理は、適正に行われていることを証明いたします。

平成 18 年 1 月 23 日

会計監査 大倉 健宏 印

日本応用心理学会 2005 年度決算書

(2005 年 4 月 1 日～2006 年 3 月 31 日)

収 入			支 出		
項 目	決算額	予算額	項 目	決算額	予算額
会費	5,571,000	5,760,000	第 72 回大会補助費	700,000	700,000
過年度分	384,000	480,000	学会賞・奨励賞	0	100,000
本年度分	5,187,000	5,280,000	心理学諸学会連合	60,000	60,000
			シンポジウム・講演費謝金	158,000	200,000
			研修会講師謝金	60,000	100,000
賛助会費	30,000	30,000	国際交流費	0	300,000
「応用心理士」関係	181,000	600,000	「応用心理士」関係経費	58,746	200,000
審査料	60,000	150,000			
認定料	120,000	450,000	委員会活動費	645,829	1,400,000
その他	1,000		機関誌編集委員会	76,654	250,000
寄付金(稲毛教子名誉会員)	200,000		学会賞・奨励賞選考委員会	38,449	50,000
雑収入	479,156	200,000	シンポジウム委員会	272,130	250,000
			国際交流委員会	143,900	400,000
			広報委員会	37,970	100,000
			研修委員会	17,390	150,000
			倫理委員会	50,366	100,000
			諸規程整備検討委員会	8,970	50,000
			若手研究者支援委員会	0	50,000
			印刷費	1,409,452	2,200,000
			機関誌	1,147,860	1,500,000
			広報関係	160,230	300,000
			その他	101,362	400,000
			通信費	639,195	750,000
			機関誌郵送費	138,450	200,000
			広報関係郵送費	286,990	250,000
			その他	213,755	300,000
			常任理事交通費	400,320	750,000
			事務局運営費	423,349	700,000
			事務局委託費	569,171	800,000
			選挙関係(通信費を含む)	477,414	500,000
			予備費	0	741,119
小 計	6,461,156	6,590,000	小 計	5,601,476	9,501,119
前年度繰越金総額	8,811,119	8,811,119	次年度繰越金総額	9,670,799	5,900,000
名簿作成積立金	1,500,000	1,500,000	名簿作成積立金	2,000,000	2,000,000
特別企画積立金	2,000,000	2,000,000	特別企画積立金	2,500,000	2,500,000
若手育成基金	1,400,000	1,400,000	若手育成基金	1,400,000	1,400,000
前年度繰越金	3,911,119	3,911,119	次年度繰越金	3,770,799	0
合 計	15,272,275	15,401,119	合 計	15,272,275	15,401,119

以上のとおり相違ありません。

平成 17 年 2 月 22 日

監査委員

印

監査委員

印

日本応用心理学会 2006 年度予算案

(2006 年 4 月 1 日～2007 年 3 月 31 日)

収 入			支 出		
項 目	予算額	前年度予算額	項 目	予算額	前年度予算額
会費	5,760,000	5,760,000	第 73 回大会補助費	700,000	700,000
過年度分	480,000	480,000	学会賞・奨励賞	100,000	100,000
本年度分	5,280,000	5,280,000	心理学諸学会連合	90,000	60,000
			シンポジウム・講演費謝金	200,000	200,000
			研修会講師謝金	100,000	100,000
賛助会費	30,000	30,000	国際交流費	1,000,000	300,000
「応用心理士」関係	800,000	600,000	「応用心理士」関係経費	700,000	200,000
審査料	200,000	150,000			
認定料	600,000	450,000	委員会活動費	960,000	1,400,000
その他	0		機関誌編集委員会	250,000	250,000
雑収入	400,000	200,000	企画委員会	300,000	—
名簿作成費取り崩し	1,000,000		シンポジウム委員会	—	250,000
若手育成基金取り崩し	400,000		研修委員会	—	150,000
			広報委員会	100,000	100,000
			国際交流委員会	100,000	400,000
			諸規程整備検討委員会	10,000	50,000
			若手研究者支援委員会	50,000	50,000
			学会賞・奨励賞選考委員会	50,000	50,000
			倫理委員会	100,000	100,000
			印刷費	2,900,000	2,200,000
			機関誌	1,500,000	1,500,000
			広報関係	200,000	300,000
			名簿作成費（通信費も含む）	1,000,000	—
			その他	200,000	400,000
			通信費	850,000	750,000
			機関誌郵送費	200,000	200,000
			広報関係郵送費	350,000	250,000
			その他	300,000	300,000
			常任理事交通費	500,000	750,000
			事務局運営費	700,000	700,000
			事務局委託費	800,000	800,000
			心理学諸学会連合分担金・協力金	300,000	
			選挙関連（通信費含む）		500,000
			若手支援費	400,000	
			予備費	1,360,799	741,119
小 計	8,390,000	6,590,000	小 計	11,660,799	9,501,119
前年度繰越金総額	8,270,799	8,811,119	次年度繰越金総額	5,000,000	5,900,000
名簿作成積立金	1,000,000	1,500,000	名簿作成積立金	1,000,000	2,000,000
特別企画積立金	2,500,000	2,000,000	特別企画積立金	3,000,000	2,500,000
若手育成基金	1,000,000	1,400,000	若手育成基金	1,000,000	1,400,000
前年度繰越金	3,770,799	3,911,119	次年度繰越金	0	0
合 計	16,660,799	15,401,119	合 計	16,660,799	15,401,119

日本応用心理学会役員選挙結果

有権者数 (投票用紙送付数)		900 通
返信総数 (封筒数)		183 通
有効返信数 (封筒数)		181 通
無効返信数 (封筒数)		2 通
投票 総数	理事選挙	905 票
	監事選挙	181 票

1. 理事

		氏名	投票数			氏名	投票数
1	当選	岡村一成	70	25	当選	井上孝代	推薦
2	当選	藤田圭一	45	26	当選	尾入正哲	推薦
3	当選	外島 裕	43	27	当選	大橋信夫	推薦
4	当選	浮谷秀一	42	28	当選	大淵憲一	推薦
5	当選	荻野七重	28	29	当選	川本利恵子	推薦
6	当選	馬場房子	21	30	当選	桐生正幸	推薦
7	当選	松田浩平	20	31	当選	豊村和真	推薦
8	当選	内藤哲雄	16	32	当選	星野仁彦	推薦
9	当選	田之内厚三	14	33	当選	松下由美子	推薦
10	当選	所 正文	14	34	当選	三戸秀樹	推薦
11	当選	森脇保彦	13	35	当選	向井希宏	推薦
12	当選	垣本由紀子	13	36	当選	南 隆男	推薦
13	当選	細江達郎	13	2. 監事			
14	当選	鎌形みや子	12				
15	当選	小野浩一	11				
16	当選	森下高治	10				
17	当選	高石光一	10			氏名	投票数
18	当選	田中真介	9	1	当選	藤森立男	35
19	当選	蓮花一己	8	2	当選	玉井 寛	5
20	当選	柏木恵子	7	3	次点	山本 寛	5
21	当選	嘉部和夫	7				
22	当選	大坊郁夫	7				
23	当選	谷口泰富	7				
24	当選	松浦常夫	7				
	次点	関口和代	7				

**日本応用心理学会選挙結果
理事長選挙**

有権者数	15 名
投票総数	12 票

	氏名	得票数
当選	岡村 一成	10
次点	荻野 七重	2

常任理事選挙

有権者数	36 通
返信総数 (封筒数)	32 通
有効返信数 (封筒数)	32 通
無効返信数 (封筒数)	0 通
投票総数	96 票

	氏名	得票数
当選	岡村 一成	20
当選	浮谷 秀一	9
当選	荻野 七重	8
当選	外島 裕	8
当選	藤田 主一	8
当選	田之内 厚三	5
当選	垣本 由紀子	4
当選	内藤 哲雄	4
辞退	小野 浩一	4
辞退	馬場 房子	4
当選	松浦 常夫	3
当選	大橋 信夫	2
当選	所 正文	2
当選	南 隆男	2
当選	向井 希宏	2
当選	松田 浩平	2
当選	蓮花 一己	1
次点	細江 達郎	1
次次点	森下 高治	1

日本応用心理学会 役員・事務局体制

(任期: 2006年4月1日~2009年3月31日)

理事長: 岡村一成 副理事長: 荻野七重

理事: 井上孝代 浮谷秀一* 尾入正哲 大橋信夫* 大淵憲一 小野浩一 垣本由紀子* 柏木恵子
嘉部和夫 鎌形みや子 川本利恵子 桐生正幸 大坊郁夫 高石光一 田中真介 谷口泰富
田之内厚三* 所 正文* 外島 裕* 豊村和真 内藤哲雄* 馬場房子 藤田主一* 星野仁彦
細江達郎 松浦常夫* 松下由美子 松田浩平* 三戸秀樹 南 隆男* 向井希宏* 森下高治
森脇保彦 蓮花一己* (50音順, *は常任理事)

監事: 藤森立男 玉井 寛

事務局長: 浮谷秀一 事務局幹事: 伊波和恵

委員会

機関誌編集委員会

藤田主一委員長

企画委員会 (旧シンポジウム委員会と旧研修委員会が合併)

内藤哲雄委員長

広報委員会

所 正文委員長

認定「応用心理士」認定審査委員会

浮谷秀一委員長

国際交流委員会

蓮花一己委員長

若手研究者支援委員会

田之内厚三委員長

学会賞選考委員会

荻野七重委員長

倫理委員会

荻野七重委員長

日本心理学諸学会連合理事: 岡村一成 垣本由紀子